

心不全委員会

松田英之/久家由美

心不全委員会とは

心不全委員会は心不全診療における課題の共有を図り、課題解決にむけた協議を行うために2024年5月に設立した。委員会の主な目的は、①心不全診療における連携体制、心不全管理の質向上ならびに効果的な連携・管理・支援体制の構築、②外来、入院の療養支援・心不全管理が円滑にできるように協議すること、③心不全在院日数の短縮にむけた連携体制の構築を図ることとしている。

心不全認定看護師である久家由美主任を委員長とし、川井和哉院長、循環器内科医である中岡洋子部長、細田勇人部長、松田英之、ハートセンター師長である上総文子看護師長、看護師の井上有紗主任、理学療法士である前田秀博部長、橋田芳恵主任、栄養部の宮島功部長、間梨奈、黒川萌音、薬剤部の岡林真由、松田由加、丸岡由貴で構成されており、その他院内の心不全療養指導士である看護部の永野雄也、和田絢世、栄養部の伊東世奈、徳永結愛、片瀬理美、野村友加里、理学療法士の井上新哉、岡崎芳起、心臓リハビリテーション指導士である藤山裕司、森本和加と連携をとり心不全チームとして活動している。

主な活動

1) カンファレンスの実施

心不全患者の療養管理について多職種で情報共有をおこなうために

①週に1回の心不全多職種カンファレンス（毎週金曜日 15時～16時）で2～3名の心不全患者の情報共有を行っている。

②月に1回心不全委員会（第2金曜日 16時～17時）で心不全チームの運営を話し合っている。

2) 心不全申し送りシートの作成

心不全患者の療養管理には、その患者のADL、生活背景、死生観等の情報も重要である。今までは職種毎に申し送りを行っていたため、簡潔に情報共有をおこなうために心不全療養指導士が中心になり申し送りシートを作成中である。今年は数施設で仮運用し意見をいただき修正中である。

3) 心不全チェックリストの作成

現在、心不全増悪の早期発見に関しては自覚症状や体重のみである。そのため、自宅や他施設において心不全増悪に早期に発見するべく心不全療養指導士が中心になり、チェック項目を記載した心不全チェックリストを作成中である。

4) 心不全チーム介入評価表の作成

現在当院では心不全による入院は 600 人/年を超えている。全員に心不全チームが介入することはマンパワー的に困難であるため、心不全チーム介入評価表を作成し、下記チラシで啓発し心不全チーム介入評価表に該当する患者を心不全チームに連絡していただくようにした。

こんな心不全患者はいませんか？

- 1年以内に心不全を繰り返している
- 食欲不振が続いている
- 介護申請が未申請
- 食事管理や内服管理ができていない
- 転倒歴がある

心不全チェックリストに該当する患者は心不全チームが介入します！

【介入手順】

- 1 主病名が心不全と診断された入院患者を把握
看護計画3日目の評価(カンファレンス)までに実施してください
- 2 心不全チェックリストの入力画面を開く
記事入力→テンプレート→共通→心不全チーム介入評価表を開きます
- 3 心不全チェックリストをもとに聞き取り
 心不全を繰り返している(1年以内)
 薬を飲み忘れることがある
 1人で歩くことが困難
 転倒歴がある
 病院の食事は薄く感じる
 食欲が落ちた
 介護申請をしていない
- 4 1つでも該当していれば各担当の心不全チームに連絡

ICU	医師介入
救命/ICU	丸岡由貴
SB/SC	丸岡由貴/和田絢世
	井上新登/PT
EA	中野洋子
内科/東	水野節子
7A/7B	中野洋子
北3	井上新登/水野節子
北4	松田英之
北5-6	水野節子

※多岐大 心不全チェックリスト
※心不全チーム介入評価表(2023.12.15) 医療部心不全チーム

5) ICT 活用に関して

心不全患者の療養管理は他施設（他病院、介護施設、薬局、訪問看護ステーション）との連携が必要不可欠である。現在は電話や紹介状で連携をしていたが、今後は ICT を活用したいと考えている。現時点で、県内では「あんしんネット」「はたまるネット」「高知家@ライン」等がある。「あんしんネット」に関しては当院が主体となり説明会を実施し、今後どのように活用していくか議論中である。

6) 勉強会の開催

多職種による療養支援の質向上を図るため院内で3か月に1回心不全に関する勉強会を行っている。Web 配信（ホームページでのアーカイブ配信）もあり、院外の方も聴講できるようにしている。

演題	発表者	学会名（聴講者）	開催
最近の心不全のキホン	細田 勇人	第 24 回心不全療養セミナー (40名)	2024/5/17
心不全患者への療養指導	和田 絢世	第 24 回心不全療養セミナー (40名)	2024/5/17
心不全治療薬～Fantastic Four って知ってますか～	丸岡 由貴	第 25 回心不全療養セミナー (32名)	2024/8/23
心不全の非薬物治療について	松田 英之	第 25 回心不全療養セミナー (32名)	2024/8/23
水分管理について	伊東 世奈	第 26 回心不全療養セミナー (46名)	2024/11/29
下肢閉塞性動脈硬化症について	今井 龍一郎	第 26 回心不全療養セミナー (46名)	2024/11/29
心不全患者に対するソーシャルワーカーの支援	上田 真菜	第 27 回心不全療養セミナー (28名)	2025/3/14

がんと心不全	中岡 洋子	第 27 回心不全療養セミナー (28 名)	2025/3/14
--------	-------	---------------------------	-----------

7) 院外勉強会の運用、参加

他施設との勉強会の運用、参加も積極的にしている。竹下病院の竹下先生が中心となっている「リハビリテーション café」、在宅医との連携のための「末期心不全在宅移行の会」、高知大学久保先生が中心となった県内の心不全連携のための「高知心不全連携の会」等に参加している。

8) 心不全療養指導士の育成

心不全療養指導士を増やすため定期的に勉強会を行っている。本年度も新たに心不全療養指導士が 4 名合格した。今回、臨床工学士では四国初と思われる西村有司が合格し、ペースメーカーの遠隔モニタリングの充実等ますますの働きが期待される。

9) 学術発表・講演会等

心不全チームメンバーが一人ひとり自主的に学会発表をしてくれており発表件数は増加傾向である。講演会の依頼も増加傾向である。

学会発表

演題	発表者	学会名	開催
シンポジウム『息切れを考える』 息切れ改善で生活の質向上をめざす 当院の外来心臓リハビリ	久家由美 (看護師)	日本心臓リハビリテーション学会 第 7 回四国支部地方会	2024/3/2
当院の HFrEF 患者に対する fantastic four の導入率の変化と薬 剤師の介入	伊藤伽奈 (薬剤師)	第 124 回日本循環器学会中 国四国合同地方会	2024/6/22~ 6/23
個別性が求められる心不全療養指導 の現状と課題	井上有紗 (看護師)	第 124 回日本循環器学会中 国四国合同地方会	2024/6/22~ 6/23
ランチョンセミナー 一人ひとりに合った心不全在宅療養 チームをつくる	和田絢世 (看護師) 間梨奈 (管理栄養士) 橋田芳恵 (理学療法士) 松田有加 (薬剤師)	日本老年看護学会 学術集会	2024/6/30
教育基礎講座 演題名: GLIM 基準による栄養診断 を知る	宮島功 (管理栄養士)	第 30 回 日本心臓リハビリ テーション学会学術集会	2024/7/13~ 7/14
パネルディスカッション「患者の心 リハ継続につながるモチベーション を考える」 ワークショップ「栄養管理ワーク ショップ～心リハの知識を栄養管理 にどう活かすか～」	間梨奈 (管理栄養士)	第 30 回 日本心臓リハビリ テーション学会学術集会	2024/7/13~ 7/14
回復期リハビリテーション病棟にお ける心不全療養指導士による栄養介 入	片瀬理美 (管理栄養士)	第 30 回 日本心臓リハビリ テーション学会学術集会	2024/7/13~ 7/14
低心機能症例への外来心臓リハビリ テーションにおける療養・就労両立 支援	横田太郎 (理学療法士)	第 30 回 日本心臓リハビリ テーション学会学術集会	2024/7/13~ 7/14
引きこもり状態にあった開心術後症 例に対する多職種支援	森本和加 (理学療法士)	第 30 回 日本心臓リハビリ テーション学会学術集会	2024/7/13~ 7/14
当院 ICU での心臓リハビリテーシ ョンの実際	橋田芳恵 (理学療法士)	第 30 回 日本心臓リハビリ テーション学会学術集会	2024/7/13~ 7/14
メディカルスタッフシンポジウム 8 『多職種で考える！療養行動支援』 心不全の ACP について考える 心不全患者が望む生活を多職種で共 有して支援する当院の取り組み	永野雄也 (看護師)	第 32 回 日本心血管インタ ーベンション治療学会学術 集会	2024/7/25~ 7/26

応用編セミナー 慢性心不全看護認定看護師と心不全療養指導士の連携と発展	久家由美（看護師）	日本心不全学会 チーム医療推進委員会	2024/7/28
ハートシンポジウム5「慢性心不全患者の低栄養・悪液質の評価・対策のための集学的アプローチ」 演題名：悪液質について	宮島功（管理栄養士）	第28回 日本心不全学会学術集会	2024/10/4~10/6
DPC データベースを用いた心不全による入院数と院内死亡の季節変動の検討	松田英之（循環器内科医）	第28回 日本心不全学会学術集会	2024/10/4~10/6
骨格筋指数(SMI)4.8のフレイルを伴う心不全に対して包括的リハビリ介入により運動耐容能の改善を認めた一例	山内涼平（循環器内科）	日本心臓リハビリテーション学会第8回四国支部地方会	2025/3/15~3/16
不整脈誘発性心筋症による初回心不全入院患者にHITTを導入し趣味活動（アジリティー）を再開できた1例	松田英之（循環器内科医）	日本心臓リハビリテーション学会第8回四国支部地方会	2025/3/15~3/16

講演

演題	発表者	学会名	開催
心原性ショック合併心不全の管理-循環器集中治療とその後の薬剤導入まで-	細田勇人（医師）	これからの心不全治療を考える in 浜松	2024/4/22
心不全を知ろう～心不全症例から考える療養支援～	久家由美（看護師）	幡多けんみん病院	2024/4/26
どこまで必要?心不全診療-当院のチーム医療・院内外連携-	細田勇人（医師）	四国西部医療を考える会 2024	2024/5/17
地域へ繋ぐ、当院における多職種連携とリハビリ	井上新哉（理学療法士）	第5回心不全療養セミナー	2024/5/27
心不全チームにおける心不全療養指導士の役割～看護師としての立場から～	久家由美（看護師）	循環器疾患未来投資フォーラム 高知分科会 看護師ミーティング	2024/5/29
心不全について考えてみる	久家由美（看護師）	くぼかわ病院	2024/6/1
循環器疾患労働者の復職支援に向けた Mets 応用	前田秀博（理学療法士）	令和6年度高知県産業医学研修会	2024/6/12
GDMT 導入に際してどうする?と思った症例	中山拓紀（医師）	心不全学ぼうの会-四国若手循環器内科医の集い-	2024/6/15
心不全チームが繋げる療養支援の実践からみえてきた在宅療養の課題	久家由美（看護師）	循環器疾患未来投資フォーラム 沖縄分科会	2024/10/23
末期心不全の在宅療養移行支援	久家由美（看護師）	慢性心不全・心不全看護認定看護師中国四国地域会	2024/11/2
『心不全療養における塩分管理を考える』	宮島 功（管理栄養士）	進め！心不全療養指導士 in 高知	2024/11/22
近森病院における心不全の現状と多職種介入の実際	久家由美（看護師）	高知心血管疾患リハビリテーション研究会	2024/11/9
心不全療養指導士の資格で広がった連携の輪	井上有紗（看護師）	山梨県甲府城南病院 心不全チーム医療セミナー	2024/12/3
非 VAD 施設での重症心不全	細田勇人（医師）	心不全・心血管治療ネットワーク施設連携ディスカッション	2025/1/30
重症心筋梗塞に対して補助循環使用下で治療方針に悩んだ症例	西村祐希（医師）	高知大学医学部付属病院 心不全勉強会	2025/1/16
チーム医療セッション 教育講演 「チーム医療から考える心不全薬物治療」 演題名：心不全地域連携における管理栄養士の役割	宮島 功（管理栄養士）	第89回 日本循環器学会学術集会	2025/3/28~3/30